

～中部地方整備局管内事業研究発表会～

霞ヶ浦用水管理所職員が最優秀賞を受賞

令和元年7月4日（木）に霞ヶ浦用水管理所から【徳田 克也】が中部地方整備局管内事業研究発表会に参加し、「電磁ブレーキ付電動機固着時の復旧手順と作業訓練」について発表、最優秀賞（安全安心部門）を頂きました。

同発表会は、国土交通省中部地方整備局管内における各事業所や関係機関が日頃の業務を進める中で、それぞれの創意工夫、業務改善、技術力向上などの研究成果を発表し、聴講並びに議論を通じて更なる能力開発や業務効率の向上を図る目的で実施されています。

機械設備の故障は、事前に予測する事が難しいため、突然発生した場合でも、常に安全で迅速な対応が求められます。そこで、過去の整備工事で発生した機器を使用して、職員が直営にて復旧作業が行えるよう作業訓練を実施しました。

発表では、電磁ブレーキ付電動機で発生する不具合「ライニング固着」について、発生する原因や考察を行い、前述した作業訓練の詳細と訓練の成果が現れた実績を紹介しました。このような訓練を実施することで、職員の即時対応力を強化することができ、また業者に依頼したときの時間およびコストの縮減も可能となります。

霞ヶ浦用水管理所における日頃の徳田は、機械設備担当として水を送るために重要な揚水ポンプの点検や取水管理等を行っています。特に製造から30年を超えるポンプ設備の運用であるため、運転中における振動や騒音、温度上昇などのちょっとした変化に細心の注意を払う必要があり、日々の管理の中で経験を積んでいます。



① 発表会の様子



② 最優秀賞を頂きました。